

相生デイズ新聞



谷川岳ロープウェイ

笹に願いを結んで

折り紙で作った飾りと、いっしょに
願いの短冊を吊るしました。

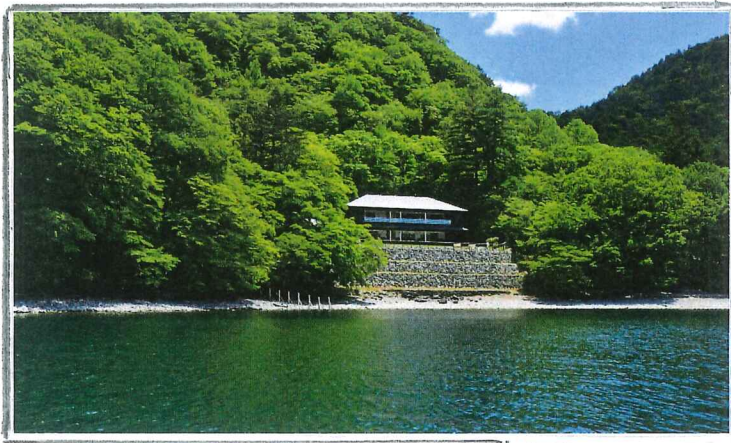
さらさらと
揺れて願いごと
が、かなうよう
な気がしました。

名歌

幾山河越えさり行なほ
寂しさのはてなむ国ぞ
今日も旅ゆく

若山牧水

明治40年の夏に



英国大使館別荘



ベルギー王国大使館別荘



イタリア大使館別荘

避暑地 中禅寺湖畔

着物の一年

裕 あわせ 五月まで
単衣 ひとえ 六月
羅 うすもの 七月、八月
単衣 九月
裕 十月から

20日は
土用の丑
うなぎは
高いので
鯉のあらい
にしました。



旅... 五能線



? 明治23年建造
国の重要文化財
野木町にあります。



風物詩

朝顔市

6日~8日

入谷鬼子母神



今月の予定

2(月) よさこいホパイ
12(木) つし草の会
14(土) 習字
17(火) 春さんと仲間たち
25(木) 藤美会
26(木) 小林音楽
※おやつ作り

床屋
さん
2(月)
11(木)
19(木)
27(金)

ユーモアくらぶ
男は嘆いた。
「長男も次男も
あんなに優秀なのに
三男とききたらう
まことに情けない...
俺の子とも思えぬ」
聞いていた妻が
つい、
「いいえ、三男だけが
あなたの子...」

天声珍語
溜たる汗は
瞬く間に
バケツいっぱ
いになった。
暑さに弱い
私だが
仕事で汗を
流したことは
ない。
労働の尊い汗
を知らないのだ
ゆっくり動いて
は、すぐに
ヨシズの影響に
入り、
ちぎりと動いては
風鈴の音を
子守に長く
横になった。
そんな毎日
幾十の夏が
過ぎた。
思い返しても
随分と危つ
かしい人生だ。
冷汗が
瞬く間に
全身を濡
らした。
スズム